

令和4年小田原市議会3月定例会 建設経済常任委員会資料

資 料 名	所 管 課	頁
企業版ふるさと納税による寄附の受領及び基金への積立てについて	産 業 政 策 課	1
プレミアム付商品券事業費について	商 業 振 興 課	2
農村地域防災減災事業 田代山農道 位置図	農 政 課	3
県営農地保全事業 曾我別所地区 位置図		4
県営湛水防除事業 鬼柳地区 位置図		5
水産物加工事業補助金について	水 産 海 浜 課	6
小田原特定漁港漁場整備事業 施工箇所図		7
城址公園園路修繕事業について	小 田 原 城 総 合 管 理 事 務 所	8
天守閣事業特別会計の事業収入の減少について		9
地籍調査事業（早川地内ほか）について	土 木 管 理 課	10
栢山雨水幹線（飯田岡地内）整備事業について	下 水 道 整 備 課	11

令和4年2月22日

企業版ふるさと納税による寄附の受領及び基金への積立てについて

1 寄附者

信金中央金庫（東京都中央区八重洲 1 - 3 - 7）

2 寄附者の事業内容

信金中央金庫では、創立 70 周年を記念し、令和 2 年度（2020 年度）から令和 4 年度（2022 年度）までの 3 年間を実施年度として、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の仕組み等を活用した地域創生推進スキーム（SCBふるさと応援団）を、寄附金総額 10 億円（令和 3 年度（2021 年度）から 24 億円に増額）で創設した。

本スキームは、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ、信金中央金庫が企業版ふるさと納税等を活用した寄附を行うことにより、地域の課題解決及び持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を信用金庫とともに応援し、もって、地域経済社会の発展に貢献することを目的としている。

※SCB…信金・central・bank の略

3 本市への寄附金額 10,000 千円

4 納付時期 2月24日（予定）

5 寄附金の扱い

(1) 「小田原市まち・ひと・しごと創生基金」への積立て

令和 4 年度事業への寄附金の充当に当たっては、基金による資金管理を求められていることから、本定例会において上程した「小田原市まち・ひと・しごと創生基金条例」により、「小田原市まち・ひと・しごと創生基金」へ積み立て、令和 4 年度当初予算において、全額を繰り入れたうえ、事業費に充当する。

(2) 充当事業

ア 事業名：令和 4 年度「新しい働き方拠点運営事業」

イ 事業概要：新しい働き方の推進に向け、オープンイノベーションや新たなビジネスモデルの創出を目指す起業家をサポートする拠点施設（ワーク・プレイス・マーケット）を設置する。

従前から起業支援に取り組んでいる神奈川県とも連携し、起業家やベンチャー企業と、小田原の生産者や地元企業等との交流促進に向けたマッチングを図るほか、企業の実証実験の場としての利用や、効果的な情報発信を通じたビジネスサポートを実施する。

ウ 当初予算額：32,000 千円

プレミアム付商品券事業費について

1 目的

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上の低迷が続く市内の商業者と市民の生活を支援するため、プレミアム付商品券を発行する。

また、地域におけるデジタル化の推進を図るため、前回に引き続き、紙の商品券と、デジタル商品券を発行する。

2 商品券概要

(1) 使用期間 (予定)	令和4年(2022年)7月1日～12月31日(6箇月)	
(2) 発行対象者	市内に在住、在勤、在学する者	
(3) 発行券種	紙の商品券	デジタル商品券
(4) プレミアム率	25% 〔 1冊12,500円分を 10,000円で販売 〕	30% 〔 1口13,000円分を 10,000円で販売 〕
(5) 発行総額 (額面)	375,000千円 (12,500円分×30,000冊)	390,000千円 (13,000円分×30,000口)
(6) 購入上限	1人につき3冊(口)まで(両方を購入は不可)	
(7) 販売方法	予約販売(応募多数抽選)	

3 予算額 230,000千円(うちプレミアム分165,000千円) ※繰越明許費

(財源 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 165,000千円)

- (1) 補助対象者 小田原市商店街連合会
- (2) 補助金名 地域経済活性化事業補助金
- (3) 事業内容 取扱店募集・取りまとめ、商品券発行・販売、換金、事業周知(情報発信、店舗ステッカー作成等)ほか

4 スケジュール

項目	R4									R5
	3	4	5	6	7	8	～	12	1	
取扱店募集	→									
デジタル商品券準備	→									
商品券印刷		→								
購入予約受付			→							
商品券販売				→						
商品券使用期間					→					
換金					→					

農村地域防災減災事業 田代山農道 位置図

繰越明許費補正

事業延長 L = 690m

広域農道小田原湯河原線

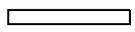
田代山農道

ヒルトン小田原
リゾート&スパ

市道1087

白糸川

県道740号 (小田原湯河原)
白糸川

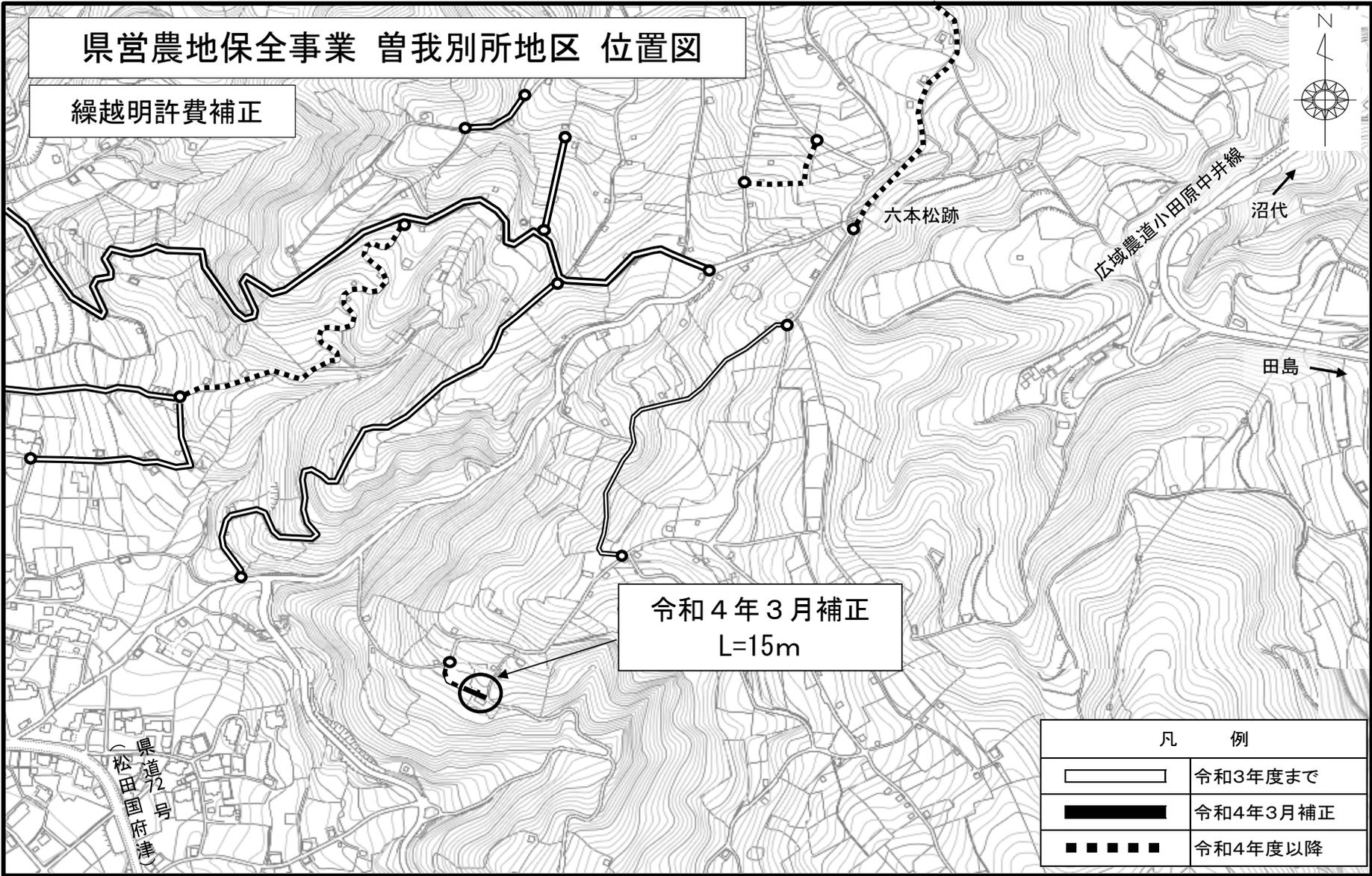
凡 例	
	令和3年度まで
	令和4年3月補正
	令和4年度以降

令和4年3月補正
L=65m

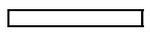


県営農地保全事業 曾我別所地区 位置図

繰越明許費補正



令和4年3月補正
L=15m

凡 例	
	令和3年度まで
	令和4年3月補正
	令和4年度以降

県営湛水防除事業 鬼柳地区 位置図

繰越明許費補正

事業延長 L=4637m

令和4年3月補正
L=42m

報徳橋

三級河三
三級河三
三級河三

鬼柳・桑原地区
工業団地

卸商業団地

三級河三

上府中公園

小田原市



凡 例	
	令和3年度まで
	令和4年3月補正
	令和4年度以降

水産物加工事業補助金について

1 目 的

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍で運営に苦慮している小田原市漁業協同組合の加工事業を支援するため、水産物加工処理施設がHACCP（※）に対応した施設となるよう、機能の向上を図る。

（※）HACCP…ハサップ・国際的な衛生管理の手法

2 概 要

HACCPに対応した施設とすることで、安全・安心に加工された製品であることが担保され、付加価値が増し、販路が拡大される。

このため、水産物加工処理施設の機能を高める機材の購入等に対し補助する。

《主な購入予定機材等》 ※写真はイメージ

(1) ベルト式ヘッドカッター



魚類の頭部を効率的にカットする機械

(2) スチームコンベクションオーブン



蒸しや焼きなど複数の調理法が可能な多機能加熱調理器

(3) プレハブ型屋内冷凍庫



加工した製品を保管する大容量の冷凍庫

(4) コンテナ型屋外原料保管冷凍冷蔵庫



原料を保管する大容量の冷凍冷蔵庫

(5) その他付帯工事一式

3 予 算 額 27,000 千円 ※繰越明許費

4 補助対象者 小田原市漁業協同組合

5 財 源 国 10/10(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

小田原特定漁港漁場整備事業 施工箇所図



① 防波堤(2)(外郭)整備工事
ケーソン製作・据付 N=1式

款	項	事業名	金額
農林水産業費	水産業費	小田原特定漁港漁場整備事業	25,165 千円 (繰越明許費)

7

城址公園園路修繕事業について

1 目的

城址公園内の旧市立図書館前園路については、遊園地への動線として利用されている通路であり、車いす利用者やベビーカー等の天守閣への迂回ルートともなっているが、竹の根張りの影響により舗装面の一部が浮き上がっているほか、経年劣化により側溝が破損していることから、舗装及び側溝の修繕を行うものである。

2 事業概要

城址公園園路修繕工事	工事延長	100m
	(内訳) 舗装延長	40m
	側溝延長	60m

3 位置図



天守閣事業特別会計の事業収入の減少について

1 概要

小田原城天守閣、常盤木門、歴史見聞館の3施設は、指定管理者制度により管理運営しているが、利用料金制を採用しているため、入場料収入を主とする利用料金収入は一旦指定管理者が収納し、その収入から施設の管理運営費を賄った後、残額が指定管理者納付金（事業収入）として小田原市へ納付されている。

令和3年度（2021年度）の天守閣等の利用料金収入が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う入場者数の減少により大幅に落ち込んでいることから、市への納付金（事業収入）が減少する見込みとなっている。

2 天守閣入場者数、市への納付金等の見込み

（単位：千円）

区分	天守閣 入場者（人）	利用料金収入（A）	管理経費（B）	市への納付金 （＝市の事業収入） （A－B）
令和3年度 （2021年度） 当初予算（C）	435,014	205,387	132,000	73,387
令和3年度 （2021年度） 決算見込（D）	317,588	149,269	132,000	17,269
差（D－C）	△ 117,426	△ 56,118	0	△ 56,118

3 事業収入の減額と一般会計繰入金の計上

市への納付金の減少に伴い事業収入を56,118千円減額するとともに、他の歳入及び歳出の増減額を加味したうえで、不足する財源を補うため一般会計繰入金を43,762千円計上する。

地籍調査事業（早川地内ほか）について

1 目的

本市では、公共事業の推進や公共用地管理の適正化を図るため、国土調査法に基づく地籍調査事業（街区境界調査）を実施している。

当該事業は、令和3年（2021年）11月に国補正予算「防災・減災の基盤となる地籍調査重点対策（5か年加速化対策分）」が閣議決定されたことを受け、令和4年度（2022年度）要望事業を前倒しして、実施するものである。

2 事業概要

(1) 区 域 名：第11計画区

対象地区①：早川・早川二丁目・早川三丁目・板橋

面 積：0.27 km²（2/2年目）

業 務 内 容：成果簿作成

(2) 区 域 名：第21計画区

対象地区②：板橋・入生田・風祭・南板橋二丁目

面 積：0.50 km²（1/2年目）

業 務 内 容：境界確認、基準点測量、境界測量、街区面積測定

3 位置図



栢山雨水幹線（飯田岡地内）整備事業について

1 概要及び変更の経緯

栢山雨水幹線（飯田岡地内）整備事業は、令和2年度（2020年度）から令和3年度（2021年度）の2か年の継続費を設定し、雨水渠工事に支障となる市道0039に埋設されているNTTケーブルの移設工事に対する補償を行うものである。

雨水渠工事において、施工方法の検討や関係機関との調整に時間を要し、令和3年度内に移設工事の完成が見込めないことから、継続費の事業年度を令和4年度（2022年度）まで延長するとともに、年割額を変更する。

2 予算額

（単位：千円）

年度	補正前	補正後	補正額
令和2年度	8,448	8,448	
令和3年度	12,285		<u>△12,285</u>
令和4年度		12,285	<u>12,285</u>
計	20,733	20,733	

3 スケジュール

変更前：令和2年10月12日～令和4年3月31日

変更後：令和2年10月12日～令和4年7月29日

		令和2年度		令和3年度				令和4年度	
		10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月
変更前	NTT 移設工事	仮設				本設			
	雨水渠工事				斜線				
変更後	NTT 移設工事	仮設					本設		
	雨水渠工事					斜線			

4 位置図

